

2013年4月2日
株式会社 DNA チップ研究所

TEL 045-500-5211

E-mail dnachip-support@dna-chip.co.jp

iPS 細胞への初期化を阻害する転写因子が分化を促進することを発見

引地貴亮研究員（京都大学 CiRA）、升井伸治講師（京都大学 CiRA/JST さきがけ）、的場亮（DNA チップ研究所）らの研究グループは、iPS 細胞への初期化を阻害する（干渉する）因子が分化誘導を促進することを明らかにするとともに、初期化における遺伝子の働きを評価する iPS 干渉法を開発しました。本研究成果は 2013 年 4 月 2 日の週（米国東部時間）に米国科学誌「Proceedings of the National Academy of Science」のオンライン版に掲載されます。

今回の成果により、将来的には高品質な iPS 細胞作製や高効率な誘導方法の開発を通じて、iPS 細胞を利用した新薬の創出や再生医療に貢献することが期待できます。

題名：“Transcription factors interfering with dedifferentiation induce cell type-specific transcriptional profiles”

掲載誌：Proceedings of the National Academy of Sciences

<http://www.pnas.org/>